

## 国民スポーツ大会ライフル射撃競技岡山県代表選手・監督の選考基準について

令和7年4月1日  
岡山県ライフル射撃協会

### 1 国民スポーツ大会参加資格

- ・「国民スポーツ大会実施要領総則」に定められた、「参加資格」、「所属都道府県（岡山県）」、「選手の年齢基準」の全てを満たす者
  - ・当該年度の公益社団法人日本ライフル射撃協会会員および岡山県ライフル射撃協会に競技者（会員）登録を行っている者

### 2 選考期間及び選考大会

選考期間は当該年度の「岡山県春季ライフル射撃選手権大会」から「国民スポーツ大会ライフル射撃競技岡山県予選会」（以下、最終予選会）とし、選考大会はこの2大会およびこの間に実施される記録会およびG3以上の大会とする。

### 3 選考人数

国民スポーツ大会ライフル射撃競技及び国民スポーツ大会中国ブロック大会ライフル射撃競技実施要綱に定められた各種別の選手1名・監督1名を選考する。

### 4 選考基準

選手：最終予選会前までの選考大会の上位2回の得点の平均点と最終予選会の得点の合計得点の1位の成績を収めたものを選考として選考する。合計得点が同点の場合は、最終予選会の上位の者を選考する。ただし、候補選手が、岡山県ライフル射撃協会の行動規範に反する行為を行った場合は、岡山県ライフル射撃協会役員会（以下、役員会）において、その権利を取り消すこととし、候補選手は成績順に繰り上げて選考する。また、選手はインテグリティ教育およびアンチ・ドーピング教育義務化研修会を受講済みであることを条件とする。

※「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の対象となる選手は、最終予選会への出場意思を表明することで、優先的に選考することとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手がブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

監督：公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の公認コーチ3以上の資格及びJRSF認定B級コーチ資格を有している者の中から選考する。

## 5 選考の方法

最終予選会終了後、速やかに役員会において選考委員会を開催し、選考基準を満たした監督・選手の中から総合的に判断し、選考することとする。

## 6 最終予選会免除者

日本スポーツ協会が定める「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」に該当する者。

## 7 選考基準の周知について

本選考基準については、岡山県スポーツ協会ホームページにて公表すると共に、予選会実施要綱において明記する。

なお、自然災害等の不測の事態が生じ、選考期間内に予選会が開催不可能となり、選考基準等に変更が生じた場合は、強化委員会において、新たな選考基準等を策定し、県スポーツ協会ホームページ等を通じて関係者へ通知することとする。

## 8 選考結果について

選考委員会終了後、速やかに県スポーツ協会に報告する。

## 9 代表選手・監督の決定について

岡山県ライフル射撃協会が選考した者の中から公益財団法人岡山県スポーツ協会会長が、岡山県選手団としての誇りと自覚を持ち、社会的な規範を遵守できる者を代表として決定する。

なお、ブロック大会実施競技種目・種別においては、原則としてブロック大会に県代表として参加・通過した選手を本大会への参加者とする。